

## 第28回うらじゃ 踊り連代表者報告会 次第

日時：2023年9月29日（金）

時間：19:00～20:30

場所：西川アイプラザ 5階

1. 開会

2. 資料の確認

資料1 第28回うらじゃ 踊り連アンケート結果まとめ（全21ページ）

資料2 第28回うらじゃ 実行委員会改善シート（全2ページ）

※資料はホームページよりダウンロードまたはご参照ください。

<https://uraja.jp/%e3%81%8a%e7%9f%a5%e3%82%89%e3%81%9b/22469.html>

3. 第28回うらじゃ実行委員長挨拶

鈴木実行委員長

4. 報告事項について

(1) 第28回うらじゃ 表彰式

総務部会

(2) 第28回うらじゃ 踊り連アンケート結果について

総務部会

(3) 第28回うらじゃ 各部会の報告及び改善シートについて

各部会

(4) その他

5. 質疑応答

6. うらじゃ振興会からのお知らせ

うらじゃ振興会

7. 岡山市 産業観光局 商工観光部 観光振興課 課長挨拶

板野課長

8. 閉会挨拶

高見副実行委員長

9. 閉会

# 第28回うらじゃ踊り連アンケート

## ～集計結果～

《 回答連数:22/68 》

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 1. その目標は達成できたか    | P. 1～2   |
| 2. 練習場所でのトラブルの有無  | P. 3     |
| 3. 本祭を楽しむための工夫    | P. 4～6   |
| 4. うらじゃの今後について    | P. 7～9   |
| 5. 踊り連間での交流の有無    | P. 10    |
| 6. 感想             | P. 11～15 |
| ①良かった点            |          |
| ②気になった点           |          |
| ③より良くするための改善策     |          |
| ④踊り連としてできること      |          |
| ⑤次年度について          |          |
| 7. 事務局からの情報発信について | P. 16～18 |
| 8. 審査について         | P. 19    |
| その他               | P. 20    |

《質問1》「うらじゃ」への参加にあたり、踊り連の中でどんな目標がありましたか。そして、その目標は達成されましたか。

	どんな目標ですか？	達成されましたか？
1	観てくださるお客さんに、うらじゃの楽しさと感謝の気持ちを伝える演舞をすることでした。	達成できました。 お客さんから、演舞するたびに「観てよかった！」と嬉しいお言葉をいただきました。
2	・演舞を見た方に温羅、温羅伝承、うらじゃに興味を持ってもらう ・演舞を見た方に笑顔になってもらう ・うらじゃを楽しむ(倒れない)	100点とは言えないがおおよそ達成できたと感じている
3	全員で楽しむ。 県外から参加するメンバーにも岡山の良さを知ってもらう。	多くのメンバーが来年も参加したいと言ってくれ、達成できたと思います。
4	どの連よりも目立つように！ 見てくれている人がこの連で踊りたいと思えるように！	今年はたくさんの方々からの良かったよ、と、お褒めの言葉を頂いた。
5	みんなが楽しく踊れること。	達成できました。
6	社内若手研修と社内交流の一貫・地元岡山を盛り上げる一助になることを目標としています。	概ね達成できました。
7	【通年目標】チームの居心地を第一にうらじゃを楽しむ 【本年度目標】 ～High!!Five～：チームの五周年を迎え朝日(旭)のように高く昇り輝いていく年にする。 2月に行ったオリジナルイベント名でも使用。 【本祭目標】結を通じた総踊り普及の先頭を担う。	【通年目標】例年通り、軸をずらさず行えた。 【本年度目標】 ～High!!Five～：チームの五周年を迎え朝日(旭)のように高く昇り輝いていく年にする 2月に行ったオリジナルイベント名でも使用 【本祭目標】結を通じた総踊り普及の先頭を担う
8	お祭りをおもいきり楽しむことでした。	達成されたようには思いますが おもいきりでは無かったと思います。
9	ご来店いただいているお客さまに 日頃の感謝の気持ちを込めて笑顔で精いっぱい踊る	達成しました。
10	「みんなで楽しむ」 練習、本番含め、全員が楽しく取り組めることを意識していた。	本祭終了後には楽しく踊り切ることができた等の声を踊り子から頂き、全員が楽しめていたかはわからない部分もあるが、良い形で終わることができたと思う。
11	おかやま桃太郎まつり参加	達成できた。

	どんな目標ですか？	達成されましたか？
12	コロナ前よりもうらじゃを盛り上げうらじゃを楽しむ 誉を受賞する	コロナ前よりもうらじゃを楽しみ盛り上げることが できた。 誉には届かなかったが、演舞場賞を受賞できた
13	踊り子全員が笑顔を輝かせ、最高の演舞をする	達成した
14	うらじゃ祭りに県外からも参加できるという一歩を踏 み出すこと。	参加後、地元チームにも話をしたところ来年参加を 検討したいという声がありました。
15	①安全・安心に2日間参加する。 ②連のPR	①2日間とも最高のパフォーマンスを披露することが できた。 怪我をする、熱中症になる、病気(後日)にかかるこ とがなかった。 ②小規模連であるが参加によって一定の認知度向 上になったと思う。
16	熱中症等体調不良にならないように気をつける きちんと挨拶をする	達成できた。
17	20年前にうらじゃに参加していたのですが、昔のうら じゃ仲間や新しい友達、そして自分の子供たちと、う らじゃの舞台に出ること自体が目標でした。連のほと んどが初心者で、子供も3分の2を占めています。う らじゃの楽しさを広めたい、大切な仲間と共有したい という一心で取り組んできました。また、次の世代の 子供たちの笑顔や頑張る姿を前面に出し、うらじゃを 引き継いでいくことを意識しました。	十分に達成されました。メンバーの中には、未就学 児や低学年の子供たちも多く、初めは踊り自体に興 味の無い子や、練習はするけど本番はでないと言 い張る子、練習はしないけど本番はでたい子…色々 な子がいましたが、10か月かけて少しずつ踊れるよ うになり、友達もたくさんでき、とても生き生きと うらじゃを楽しめるようになりました。親たちも、我 が子と共に一つの目標に向かって頑張る貴重な経 験ができたことや、一年間でみられた子供の成長に とても感謝し、楽しむことができました。本祭総踊 り後、子供たちが「来年もやりたい！！」と、宝 物を見つけたかのような輝く笑顔で話しており、 感動しました。
18	結成25周年の記念の年だったので、歴代参加して くれている人達に声を掛けて、一緒に踊れるよう に募った。	今年だけでも参加出来たらと、県外からも岡山に 帰ってきてくれて、一緒にうらじゃを楽しむことが 出来ました。
19	誉をいただく	達成することができました。
20	年次を超えて、職員間の連携を深める	達成された。
21	登録した全員で日曜日最後の市役所筋パレードを踊 ること	できませんでした
22	うらじゃ本祭をおもいきり楽しむ	初参加の子が多い中、体調不良者もほとんど出 ずみんなが「楽しかった」と感じた本祭だった

《質問2》練習場所でトラブルなどはありませんでしたか。  
あった場合には、詳細を教えてください。  
(場所と時間とトラブルの内容など)

有	2
無	20

詳細	<p>会社の団体なので営業時間後に練習を行うため個々によっては出席率の悪いスタッフがいたりした。</p> <p>岡山ドームでの練習でシステムが変わっていた。</p> <p>練習するのに3週間前の予約と使用料が発生必要になっていた。</p>
----	---

《質問3》本祭を楽しむために、どのような工夫をされましたか。そして、次年度はどのような工夫をされる予定ですか。

	本年度の工夫	次年度の工夫
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本祭を楽しむために踊り子 1 人ひとりが観てくださるお客さんのことを常に考え、練習を重ねました。いい演舞をするとお客さんが喜んでくださるので踊り子も楽しめました。</li> <li>・当日では熱中症に気をつけるために、塩分と水分をこまめに補給しました。</li> </ul>	<p>本年度で自連は解散になります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒れる人が出ないように日々の練習で日差しや暑さに慣れるよう屋外での練習を基本とした</li> <li>・水分と塩分を各自が意識的にこまめにとった</li> <li>・体の熱を逃がすために汗拭きシートなども積極的に使用した</li> <li>・休憩スペースの確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩スペースの場所が会場から少し離れた場所だったため、会場近くを確保する</li> <li>・本番を不安なく迎えられるよう練習スケジュールを見直す</li> </ul>
3	<p>事前にスケジュール作成 事前合宿を行い、県外の人にうらじゃ音頭を教えるなど、うらじゃへの距離感を縮めるよう努めた</p>	<p>演舞間隔が短すぎた部分があるので、来年は間隔を長めにとる時間帯を作って、うらじゃ祭りの雰囲気を楽しむ時間も作りたい</p>
4	<p>水分補給、塩分チャージなど踊り子が欠けることのないようお互い気をつける。 来てくれた人に笑顔で挨拶する。</p>	<p>引き続き、体調管理をするのと、年間を通して踊る！</p>
5	<p>全体練習の他、来れる時間に参加できるように時間を長く取ったり、練習以外にも食事会をしたり、コミュニケーションを多く取るようにしました。</p>	<p>全体練習で全員が揃えるような工夫を考えて、コミュニケーションも今年以上に多く取れるようにしたいと思います。</p>
6	<p>業務時間外での活動となるため、練習の拘束時間の短縮や、個人練習の部分を増やし、個々の負担を軽減できるように努めた。 熱中症対策のため、貸し会議室を終日利用した。</p>	<p>総踊りと屋外待機での、水分補給に於いて、飲み物が不足してしまった。 来年度は、大型のサーバーの活用を検討する。 来年度に向けた、改善点を記録としてまとめて、踊り連内で共有をしている。</p>

	本年度の工夫	次年度の工夫
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に会場として使われている街のお祭り(表町：備前岡山ええじゃないか大誓文払い)をテーマとした演舞を行い、より身近に、お客様に愛される演舞作りを行いました。</li> <li>・一年全体で考え、今年度の初っ端(2月)にイベントをイオンモール岡山未来ホールにて開催。ちょうど本祭と半年周期で行うことで、今年のうらじゃに対するチームのモチベーション向上に努めました。</li> <li>・結復活をチャンスとし、振付師(濱岡加奈子先生)を招き入れた振り落としの実施、歌い手(安井優子先生)とのコラボを行うことで、“総踊りを愛する、総踊りに強いチーム”を目指し練習を行いました。</li> <li>・本祭一日目の駅前ナイトの枠を総踊りタイムとしてエントリーし、踊り子、チームマネージャー、会場スタッフ、お客様全員を招き入れ、うらじゃの特徴である地域参加型の総踊りを実際に体現しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本祭問わず、今後のうらじゃへの旭でできる貢献として、まずは依頼演舞等に結のプログラム加入を積極的に行いたいと考えております。</li> <li>・うらじゃと企業、地域の理解を生活の中で地域の皆様にもっと身近に感じてもらうべく、広告媒体を使ったチームの宣伝(街中のモニター、地元メディアへの出演、雑誌掲載など)本祭までの踊り連の露出を多様化し、さらなる“臨場感”を増加させていければと思います。</li> </ul>
8	無し	移動手段等を考えようと思います。
9	グループラインを作り、情報共有を図る(練習日の確認、ダンス動画など)	継続して行う
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決起会の開催</li> </ul> <p>踊り子やマネージャー、また企業連のためその他社内の役員のメンバーなどと決起会として交流を深めることができ、うらじゃ当日に向けてモチベーションを高める機会を作ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未定</li> </ul> <p>来期メンバーにて検討のため</p>
11	結～Yui～踊れるように練習	他のチームさんと合同練習
12	久しぶりのうらじゃでメンバーの暑さへの耐性と体力が衰えていたので、演舞時間の間隔を充分空けて各演舞で全力を出せるようにスケジュールを組んだ	練習で十分な体力を付けて、本年度うらじゃよりも演舞回数を増やしたい
13	本祭での移動や待機中の態度や、他連への挨拶などに関するルールを事前にチーム内で共有し、徹底した。	体調管理のための準備を事前しておく。

	本年度の工夫	次年度の工夫
14	初参加だったため工夫することはできませんでしたが、タペストリーの作成や温羅化粧等、経験したことがないことも多く準備から楽しませて頂きました。	今年たくさんのチームさんを拝見しもう少しうらじゃの要素も取り入れたいと思いました。
15	衣装の変更・年度テーマの変更を行った。	①連結成当時のテーマと年度テーマを合わせてより向上した演舞を行えるようにしたい。 ②人数を増やしたい。
16	本年度は2019年演舞より、久しぶりだったので、とにかく準備、練習に終われ、日々に精一杯でした。	次年度は、参加人数も増やし、パレードが参加出来るようにしたい。
17	小さい子どもが主の連であるため、熱中症や体力温存のためのスケジュールを工夫しました。 また、団体行動における留意事項やマナーをまとめ、自分たちも他連の方も、お客様も気持ちよく過ごせるように、子供たち同士でも約束を確認しあえる場をつくりました。	同様にしたいと思います。
18	暑さ対策をしっかりとった。水分、塩分補給はもちろん、踊り子の体調管理をしっかりとった。	次年度も同様
19	他の踊り子や裏方さん、観客の皆さんへのファンサービスで会場を盛り上げるよう取り組みました。	来年はそれ以上の全員を巻き込んだ盛り上がりを起こせるよう取り組みたいです。
20	あえて運営役の職員からは指示をせず、踊り子内のリーダーが音頭をとって連携を高めていった点	今年度よりも多少厳しさをもって練習の精度を高めていく
21	暑さ対策のため演舞場の近くに控室を準備し、体調を万全にすることができるようにした	本年度と同様の予定
22	小さな子が多いので、移動中の安全面には気を使い、体調不良等ないか気を配った。	引き続き、安全面に考慮しながら最大限楽しめるようにしていきたい



《質問4》「うらじゃ」は今後、どうなると良いと思いますか。  
また、踊り連としてできることはどんなことだと思いますか。

	こうなると良い	踊り連としてできることは
1	多くの人に、愛されて大切にされるお祭りになってほしいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが倫理観とマナーを大切にしてお祭りを楽しむ。</li> <li>・「うらじゃ原曲」「うらじゃ音頭～神宿る火～」の正しい振り付けが分からない踊り子がいると思いますので振り付け講習会を行った方がいいと思います。また、結を正式に復活させるなら講習会は必須だと思います。踊り子が踊れないとお客さんも誰を観て踊ればいいのか分からなくなりますので。</li> <li>加えて総おどりで掛け声を再度周知していく活動をするのはいかがでしょうか？。特にうらじゃ音頭は、「回って♪回って♪それ！×4」というかけ声がある認識なのですが、踊り子によっては「ハイ♪×8」と言っている踊り子もいらっしゃいます。</li> <li>・著しくマナーの悪いヤンキーのような踊り子がいっぱいいました。車の窓から大声で叫んでいる様子でした。場所は下石井公園の汽車付近でした。「実行委員会に風紀部会があればいいな。」と思いました。</li> </ul>
	多くの人に、愛されて大切にされるお祭りになってほしいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のぼりを肩に担いで歩いている踊り連を、5～7連程見かけました。周りに配慮がなく歩行者に棒が刺さって怪我をさせる原因になるので、代表者が集まっているグループLINEで注意喚起をしましたが、説明会で事前に注意事項としてあげておくのはいかがでしょうか？</li> <li>・踊り連ではありませんが、実行委員会の中年男性4人組が道を並列で歩いておりました。しかも、車道を歩いておりました。車通りが少ない道ではありましたが、あり得ないことだと思います。歩く時は歩道を縦列で歩きましょう。その場で注意出来なかった私も悪いです。反省しております。(総おどりの交通規制時間ではありませんでした。)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインである総おどりで踊り子、裏方、観客が一つになれる</li> <li>・人に、街に好かれる祭りになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝の気持ちを持ち、行動する(挨拶、ゴミ拾い)</li> <li>・演舞で観客に感動を与えたり、笑顔にする</li> <li>・原曲、音頭、結をちゃんと覚える</li> <li>・総おどりはみんなで踊る</li> </ul>
3	「うらじゃ」と聞けば岡山とイメージできるような代名詞になってほしい。	うらじゃに限らず、県内イベントへの参加を積極的に行う
4	参加連が増えて、うらじゃ祭りを通して岡山のアピールが出来たらいいと思う	連のアピールだけではなく、岡山のアピールをする。

	こうなると良い	踊り連としてできることは
5	もっともっと広めて、うらじゃを知らない人がいないくらい の存在になるといいなと思います。	参加する連の皆さんの力で楽しさを伝え、もっとも と広めていく。参加してみなきゃわからない事をどん どん伝えることが大事だと思います。
6	継続する事が大切だと思いますので、おかやまの文 化としてこれからも是非開催をお願いします。 猛暑が続きますので、企業連としては秋開催の検討 も頂けますと幸いです。	本番当日をとにかく盛り上げる事に尽きるとしま す。
7	少し真面目な話にはなりますが、踊り連と運営のコ ミュニケーション不足があると感じました。踊り連は踊 り連でしっかりとした考えが、運営は運営でうらじゃに 対する熱い考えがあると感じ、説明会の質疑応答だ けでは賄えない意見や想いがたくさんあるのではと 感じました。 私自身が、今年個人的な繋がりや、運営の方々とお 話しする機会が少しばかりありました。その中で、た だ踊っているだけではわからない運営の方々の影の 努力や苦悩がたくさんあり、本当に感謝の気持ちが 増すばかりでした。これに関しては踊り連はみんな知 るべきであり、逆に踊り連の苦悩も是非運営の方々 に是非知っていただきたいとも思いました。 形式は会議でも、懇親会でも、たとえばお酒の場 であっても私はいいと思います。 うらじゃを愛する同志として、今後は今以上の一致団 結をするべきであると考えます。	まずはうらじゃのルールに従うことではないかと考え ます。そのうえでうらじゃの理念に沿ったチームの活 動、総踊りの普及、地域の盛り上げに徹することが 大事ではないかと考えます。
8	とにかく今年の酷暑の中での移動が大変でしたので 移動手段等を改善するべきだとおもいます。 スケジュールがタイトで走って移動が多かったので 今年のような登録制ではなく実行委員会で無理のない スケジュール組をやっていただきたいと思ひます。	自分たちで出来ることはお金を掛けて 移動手段を段取りする事しかないと思ひます。
9	他県の人にはほとんど知らないのもっとアピールす べき 千鳥など著名人に踊ってもらってアピールしないと よさこい祭りの二番煎じと思われても仕方がない。	連のメンバーはほとんどが岡山出身ではないので 「岡山」で働いていることに誇りを持ち感謝の気持ち を 込めてうらじゃ魂を伝えるべき
10	ご鑑賞頂くお客様に対して元気を与えたり、岡山を盛 り上げるお祭りの1つとして存在し続けることを期待 している。	清掃活動やその他ボランティアなど、地域貢献の活 動として関わること
11	8月開催は熱中症になる危険やコロナ感染者も多い ことから安心・安全な11月中旬以降の開催。	実行委員会や踊り連にも開催日変更を働きかける

	こうなると良い	踊り連としてできることは
12	うらじゃ実行委員会、うらじゃ振興会、各踊り連の交流の場がもっと増えたらよりうらじゃを楽しめると思います	出前うらじゃの打ち合わせや親睦会のおかげで裏方の方々と繋がりを持つことができ、本祭当日楽しく演舞をすることができたので、このようなイベントには積極的に参加すればよりうらじゃを盛り上げることができると思います
13	うらじゃ連同士を交流をさらに深める。	連同士の交流のある、イベントに積極的に参加する。
14	岡山を代表する祭りとして先ずは規模がコロナ前に戻れば良い。その上で長く歴史を紡いでいければ良い。	・演舞依頼に応えること。各方面で踊ることでPRを行う。 ・メンバーを増やすこと(難しいけど)
15	夏のうらじゃは最高ですが、今年のような猛暑では、体力も心配でした。日陰で出来る演舞場がもう1つくらいあれば、有難いですね。	普段からの体調管理と部屋の中の温度と外気温の差をあまり大きくしないようにする等 うらじゃ前は特に、体調を整える事が大事だと思う。
16	もっと地域と身近なものになり、地域に根ざした祭りになってほしいです。踊りが得意な人たちの発表の場、若い学生たちだけが参加できる場ではなく、老若男女あらゆる出代が楽しめる祭り、みんなから愛される祭りになってほしい。	子育て世代の親として、子供と共にうらじゃを楽しみ、発信していくことです。
17	さらに地元の人たちに愛される祭りになることです！	演舞を通してお客様を楽しませる事はもちろん、普段からの挨拶やゴミ拾いなど岡山を愛し、地域の人たちに愛される存在になることです。
18	県外の観光客に楽しんでいただけるような祭り	今と同様、大人から子供まで楽しめる空気づくり
19	やっぱりうらじゃの醍醐味は総おどりだと思うので最後の総おどりに県外や海外の方にたくさん参加してもらい、楽しさを知ってもらえたらと思う	イベントなどへの出店や子どもたちへのうらじゃの継承
20	もっと街全体の人々がうらじゃを楽しむことができれば良いと思います	まだまだ一部の人のうらじゃ、であるのかな、と感じることもあるので、うらじゃの啓発活動が必要であれば協力していきたい

《質問5》:「うらじゃ」を盛り上げるためには、踊り連の間での交流も大切にして欲しいと考えますが、今年度の「うらじゃ」で、新たに交流が始まった連はありますか。あった場合には、どういうきっかけですか。

有:	9
無:	13

新たな交流	そのきっかけ
有	実行委員会の「犬飼さん」という方が多くの連に挨拶周りをされていました。犬飼さんを通じて他連と交流ができました。とても感謝しております。ありがとうございました。
有	・地域のお祭りで一緒に演舞した連と仲良くなり、本祭当日もお互いに声を掛け合った ・昨年に引き続き今年も演舞順が前後になった連とそれをきっかけにお話しさせていただいた
有	今年の踊り子が偶然、知り合いだった。
有	学生主体チーム5連が主体となり、交流を目的とした運動会を行いました。
有	弊社代表取締役社長の繋がりでお声掛けさせて頂くことができ、懇親会を開催した。
有	同じイベントに参加
有	出前うらじゃにて
有	うらじゃ本祭に交流連のメンバーと自連のメンバーが友人であり、総踊りの配置が隣であったため。
有	総踊りのブロックで一緒になり、輪になり楽しむことができました。

《質問6》本年度の「うらじゃ」の事前準備や本祭当日についての感想を以下の項目ごとに聞かせてください。  
また、次年度は参加されますか。

次年度の参加	
参加 :18	未定 :3
不参加 :0	解散 :1

①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
<ul style="list-style-type: none"> <li>各会場、お客さんが多くいて、賑わいがあった良かったです。</li> <li>各会場、実行委員の皆様が演舞前に盛り上げてくださるお声かけをしてくださり、気持ちがいい演舞ができました。</li> </ul>	<p>彩り鬼を、貰っていない踊り子に渡そうとするのはとても配慮があっていいのですが、「あなた貰ってるの？じゃあこっちの子にあげる」と渡されている踊り子がいました。そんなふうには渡されても踊り子は嬉しくないとおもいます</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>さん太広場演舞場が2日とも開催されたのが良かった。日陰の演舞上なので観客も過ごしやすく、踊り子も踊りやすい。</li> <li>表町パレードが開催されたのが良かった。観客が近いので踊っていて楽しい。日陰なので観客も踊り子もありがたい。</li> <li>東口ナイト演舞場は駅前なので足を運びやすかったのか、観客がかなり多かったのが良かった。日中と違い多少涼しくなっていたのも理由の一つかもしれない。</li> <li>各会場付近に出店が並んでいたのが良かった。うらじゃが返ってきた感じがした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表町パレードが2回演舞になっていることを観客が知らなかった？スタート位置の手前から観客がいた気がする</li> <li>総おどりの時に自分たちの連だけで楽しもうとする連が見受けられた</li> <li>結は仕方がないかもしれないが、原曲や音頭も覚えていない連がいた</li> <li>踊り連関係者の中にも総おどり中に車道で動画撮影をしている方がいた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観客にも分かりやすいようにスタート位置の目印を設置する</li> <li>各ゾーン内でも大きな円(何重かの)を作るように促す</li> <li>原曲や音頭のレクチャー動画をYOUTUBEなどで配信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総おどりがうらじゃのメインであることを理解する</li> <li>踊ってみた動画などを投稿して振り付けの確認がしやすい環境を作る</li> <li>当日連のスタッフをしてくれる方まで含めてルールの徹底をする</li> </ul>
<p>エントリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前エントリー制になったことで、事前にスケジュール作成・メンバーへの周知ができた。</li> <li>受付で登録証提示が必要なくなったことで、特定の人が毎回急いで移動するという必要がなくなりよかった。</li> </ul>	<p>ハレマチ:代表者会議では、のぼりはのぼり置き場に置き、店内で持ち歩かないという説明があったと思うが、出演時は持参してOKと当日わかった。</p>	<p>代表者会議での説明事項・質疑応答をまとめてHPにアップするなど、当日参加できないメンバー(連の代表者以外)に共有できるようにしてほしい。</p>	<p>会議資料を見返すと、「のぼりは出演時以外は…」とあったので細かく資料を読み込むことが必要と感じました。</p>

①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
<p>踊り終わった後、すぐに給水できたことがとてもありがたかったです。 大変お世話になりました。</p>	<p>市役所筋パレード: 左右の連が重ならないようにしてほしい。(音楽が全く聞こえなかった)</p>	<p>トラックによって音量の違いすぎたように思いました。左右重ならないようにしてほしいです。</p>	<p>楽しさを一人でも多くの人にわかって頂くこと。</p>
<p>下田町公園: たただだ復活が何よりうれしかったです。 下田町ナイトもガーデンナイトを踊れない連としては非常に楽しく思い出に残る素晴らしい機会だったと思います。</p> <p>表町パレード: こちらも復活が本当に旭として嬉しく、表町をテーマとした演舞をしていただいにメンバーも踊れてよかったと口を揃えて言っていました。 その他会場もいつもと変わらず楽しく踊らせていただきました。本当にありがとうございました。</p>	<p>会場ではないのですが、今年は記念撮影がないことが少しだけ寂しかったです。</p>	<p>先ほどの内容と重複しそうですが、互いのリスベクトをとった目的で運営と踊り連の意見交換の場をもう少しフラットな形で行えたらいいなと考えます。</p>	<p>これに関しては先ほど書いた内容とほぼ一緒です。</p>
	<p>総踊りでとある連の踊り子さんが知的障がい者?の方をいじっておりました。 持って入ってはいけないスマホで障がい者の方が踊ってるところを撮影して笑ったりするのは見ると非常に不愉快でした(いじっていたのは受賞連でした)総踊りの在り方より先ずは人としてのモラルももっと言うべきではないでしょうか? 周りで見ていた我々も注意するべきだったのしょうが裏方さんはじめ皆さんがもっと気配りをして楽しい総踊りになることを願います。 そしていじられてた方がまた来年も来てくれることを切に願います。</p> <p>先ほど記述した移動問題は特に考えて頂きたいと思います。</p>	<p>移動手段の件は踊り子専用バス等を格安で運行するなどして欲しいと思います。</p>	<p>踊り連どうし色々な意味で注意できる様になって行けばよいとおもいます。</p>
<p>参加したそれぞれの会場の対応はよかった。</p>	<p>熱中症対策を考えて欲しい。水がぬるかったミストをかけてくれると気持ち的にありがたい</p>	<p>市役所パレードの距離が短い。南進・北進にわけず一方通行の方がよい、両方から音が響くのでスタッフの音が聞きとりにくい(地方車に乗っていたので聞きづらかった)</p>	<p>とにかく楽しむ。お客さんを巻き込む。</p>

①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
<p>下田町公園の踊り子からお客さんに彩り鬼の木札を渡すシステムがいいと思った</p>	<p>下石井公園で二日ともMC短めでとお願いされたことが不思議に思った。</p>	<p>持ち時間の厳守？</p>	<p>時間厳守？</p>
<p>表町パレード: 観客との距離が近く、より近くで演舞を楽しんでいただくことができた。</p> <p>下石井公園ナイト演舞: 他連や観客も一緒に総踊りができた。</p>	<p>表町パレード: 地方車の音量が大きすぎる連があった点。耳が痛くなってしまったメンバーがいた。</p> <p>出前うらじゃ: 参加希望も事前にとっていただいております、実際に子どもたちと触れ合っとうらじゃを伝えることができるが、小学校の希望が通らない場合がある上、小学校まで徒歩移動で野外での演舞だったため、スケジュール組みや体力面の負担が大きかった。</p> <p>エントリーについて: 今のままでは早い者勝ちのエントリーになってしまい、出たい演舞場に出られない可能性がある。実際には、前後の演舞の時間の余裕がなくなり、移動が忙しくなりました。</p> <p>審査について: 説明会・当日どちらとも審査基準について詳しい説明がなされず、何を重視して評価されているのか分からない部分が多かった。演舞場全てで審査されると説明会で伝えていただいたが、パレード演舞は両日とも審査対象ではなかったこと、同じ連が複数の演舞場賞を受賞することや、演舞場賞を受賞していない連が誉・匠を受賞したことに関する説明が不十分で困惑している人が多かった。</p>	<p>出前うらじゃ: 室内で開催する、可能であれば送迎をしていただく</p> <p>エントリーについて: 各会場の参加希望は取った方がよいが、昨年のように運営側で十分な時間のゆとりを持ったスケジュールを組んでいただく方がよい。</p> <p>審査について: 審査基準を事前に説明し、細かく設定されたルールに基づいて受賞連を決める。</p>	<p>出前うらじゃ: 参加についてよく検討すること</p> <p>エントリーについて: 無理はせず、十分な移動時間を確保できるようエントリーすること。</p>
<p>全ての会場で温かく迎えてくださりありがとうございました。</p>			

①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
<p>全体的にどの演舞会場もお客様も多く、裏方さんも温かい人が多く踊りやすかった。暑い中、ステージ環境を整えてくれる裏方様には感謝です。</p>	<p>①一部、通路・道路を横に幅をとって移動されている裏方様がおられた。 踊り子側としては衣装、メイクで目立つので特に注意(一般の方に迷惑をかけないように)して通行するようにしているので同じように心掛けて欲しい。</p> <p>②今年度の審査(誉・匠)は、ノミネート賞=演舞場賞の中から選ばれるって説明を受けた認識でしたが・・・(各賞受賞連様の演舞は受賞相当だと思っています。誉受賞連様は圧巻でした。) 当日に公表基準が変わるのはいかがでしょうか？</p> <p>③実行委員会から再三、提出物を出すよう(締切期限を守ってない?)連絡が来ていた。提出日等を守るのが当然と今まで参加していたので実行委員会様の気苦労を考えると憤りを感じる。</p>	<p>①裏方様のミーティング時に心掛けるようお願いするようにしてください。</p> <p>②ノミネート賞(市長賞)と演舞場賞をわけるとか。 運営側の評価点があつて賞に値するがタイミングや賞の数で表彰できない連が発生した場合には特別賞を出す等に対応して欲しい。</p> <p>③社会通念上、対応ができない連(再三の連絡要請に応えない・遅延の連絡がない等)は本祭への参加を認めない等の罰則も行えばいいと思います。</p>	<p>今後も地域社会にも受け入れ続けられるようにマナー面に配慮する行動を行う。 全連を対象にしたマナーアップ講座とか開催しても良いのでは？</p>
<p>ガーデンナイトの彩鬼のお花が良かった。 今までになかったので…</p>	<p>下田町公園の連からお客様への彩鬼選出 &gt; 見ていると、知り合いの方や、先輩など本当の意味で盛り上げてくれていた方にあげていなかったのでは… 知り合い以外で…と決めてくれていた方が良かったかもしれないです。 もちろん、きちんとしていた連もあったかと思いますが…</p>	<p>どんどん各会場で新たな事をしていく事のは、とてもステキな事だと思います。 その都度考えなおしたり、グレードアップしたりするのは、わくわくしますね。</p>	<p>少人数ではありますが、地域のイベントを中心に、子ども達から、年配の方まで、多くの方にうらじゃを知っていただけるように、コロナ禍があげた今、地道に活動していきたいと思っています。</p>
<p>中央町下田町公園で休憩が出来た。キッチンカーが来ていて、食べながら木陰で休むことができた。</p>			
<p>表町パレード会場 観客の皆さんとの距離が近く、『祭り感』を強く感じられる良い会場でした。</p>	<p>さん太会場の正面だけでなく後ろからの観客があつた方が盛り上がりを感じました。</p>		<p>自分たちが盛り上がるのはもちろん、観客の皆さんにどうしたら盛り上がりたてもらうかを追求していきたいと思っています。</p>



①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
<p>全体的に特に気になったり、トラブルもなく参加できた点</p>			
<p>どこの会場も事前エントリーだったので時間に余裕を持って移動することができた。 彩鬼の札を一人一つ重複しないように子どもからかけてくれた点</p>	<p>県外チームがもっと来てくれると活性化に繋がるのでは</p>	<p>うらじゃ原曲が入っていない県外チームにも県外チーム賞のようなものがあれば参加費がもう少し安くなれば良い</p>	<p>うらじゃを通して少しでも岡山を盛り上げることができれば</p>
<p>岡山駅前が復活したこと</p>			

《質問7》事務局からの情報発信について気になった点があれば  
ご記入ください。

気になった点	その理由
<p>・今年ガーデンナイトに参加させていただきましたが、ガーデンナイトのスケジュール調整が遅いです。踊り連は各会場エントリーを行うのでナイト演舞等のスケジュールを組むのが困難になります。エントリー期間前に連絡をお願いします。</p> <p>・「出前うらじゃ」の連絡も早く頂けると幸いです。今回お声をかけていただき、参加したかったのですが、連でスケジュールを組み終わっていたので、出ることを断念しました。とにかく連絡が遅い印象です。</p>	<p>・今年ガーデンナイトに参加させていただきましたが、ガーデンナイトのスケジュール調整が遅いです。踊り連は各会場エントリーを行うのでナイト演舞等のスケジュールを組むのが困難になります。エントリー期間前に連絡をお願いします。</p> <p>・「出前うらじゃ」の連絡も早く頂けると幸いです。今回お声をかけていただき、参加したかったのですが、連でスケジュールを組み終わっていたので、出ることを断念しました。とにかく連絡が遅い印象です。</p>
<p>メール、LINEなど複数の媒体で連絡をしてくれたのでとても助かった。わかりやすかった。</p>	
<p>①代表者会議について、オンライン参加(後日の録画視聴も可とするなど)や資料配布での対応も検討していただきたいです。</p> <p>②受賞基準について。代表者会議で聞いたものと実際の審査で違いがあり、混乱があった。</p>	<p>①仕事や練習場所の都合上、岡山市外で活動することが多く、現地へ向かうことが負担になる場合があるため。また、特にうらじゃ前の第2回は県外の祭り・イベントが増えてくるため、融通がきく参加形態だと助かると感じました。今回は、他県のお祭りを欠席して代表者会議に出るという形でした。</p> <p>②受賞基準を示すのであれば、確定したものにするか、未定状態であれば示さないのがよいのではないかと思います。</p>
<p>連絡が重複し、返信に戸惑いました。</p>	
<p>細かい情報発信をいただき助かりました。熱中症注意喚起を当日もいただいたことで、メンバーの安全意識が高まったと思います。</p>	

<p>良かった点: 第一回資料に本祭後も含めたスケジュール表があることが毎年助かっております。</p> <p>気になった点: 審査に関する情報が少なかつたように感じました。</p>	<p>私共のチームは賞にこだわらないコンセプトですので、事実上は関係のない話なのですが、やはり賞があるということは少しばかりメンバーが期待してしまうのも事実です。</p> <p>賞が取れなかつたことが納得いかないことは全くなく、そこはただただダメだつたと考えております。岡山活性を目的としているため、むしろ審査がなくても極論いいとも思うくらいです。(これに関しては一個人の意見です)</p> <p>審査を行うのであれば、審査項目等がもう少しあれば嬉しかつたです。</p> <p>素直に情報が少なかつたことが、本祭が終つた後も後味が多少悪い要因でした。</p>
<p>今年は特にITが弱かつたと思います。</p>	<p>スケジュール発表が遅かつたりどこに踊り連紹介やスケジュールが出てゐるのか非常に分かりにくかつた。昨年までの様に生配信等もなく観客目線になつてないと思ひました。</p>
<p>情報発信のツールの多さ</p>	<p>うらじゃ参加に関わる連絡について、メールやLINE、また時には電話連絡など発信方法が多く、統一して頂けると混乱することも少なかつたように思う。</p>
<p>連絡はたくさん来るのですが出前うらじゃの連絡だけはなかつたように思ひます</p>	<p>理由はわかりませんが出前うらじゃ参加するチームさんを一般公募でなく出前うらじゃ担当者がチーム選別しているからかもしれませぬし、それかメールが迷惑メールに入つて読むことができなかつたのどちらかだと思ひます。保育学科のある大学なのでメンバーさんの都合が合えば参加したかつたです。</p>

<p>連絡のタイミング</p>	<p>仮エントリーから本エントリーまでが1週間しかないことや、清掃活動などの連絡から期限や当日までの日にちがあまりないことから、相談する時間が十分とれなかったり、メンバーの予定を合わせる事が難しかったりしたため。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>初参加でわからないことが多くとても親切に答えて頂きました。ただ振興会、総務部会、実行委員会、事務局、大旗など窓口が多様でしたので初めて故にこの質問や回答はどこにすべきかというのがわからず、色々なお問い合わせ先に何度かご連絡させて頂いたり個人的に連絡をとらせて頂き申し訳なかったのでご連絡する窓口をしぼるもしくはどこにお問い合わせすべきかももう少しわかりやすくなるとご担当者様の負担も減らすことができ、初めてのチームさんも参加しやすいかと思いました。右も左もわからなかったため大変お世話になりました。</p>
<p>注意点、催促など連絡を流していただきありがとうございます。</p>	<p>ご迷惑をお掛けすることは無かったとは思いますが適時細かくご案内をいただきありがとうございました。</p>
<p>・タペストリーやのぼりの配布を早くしていただきたいです。      ・審査基準について、第一回代表者会議では、20日の下石井会場で審査と聞いた覚えがあり、その後、祭全体の審査になったことは把握できていませんでした。分かりやすく、エントリー前には、みんなに周知できるようにしてほしいです。</p>	<p>・タペストリーは事務局に取りに行くだけでも、仕事との兼ね合いで難しいこともあります。      また、制作期間が短く、本番直前になるので、制作に負担がかかってしまいます。      ・子供主体の連は、熱中症対策、体力維持の観点から、二日連続の参加は難しくなります。今回は、誉・匠を目指していたわけではありませんが、20日の下石井がメイン会場だと勘違いをしてスケジュールを組みました。また、審査についての意見になりますが、うらじゃ祭りが老若男女あらゆる世代が楽しめる祭りであるためにも、カテゴリー別、もしくは、バライティ豊かな賞があれば、励みになると思います。</p>

## 《質問8》審査について、ご回答ください。

問1:あなたの踊り連は賞を目指していますか？	連数
① 誉・匠をはっきりと目標に、受賞を目指して練習している。	9
② 誉・匠は遠い目標で、演舞場賞などを目指して練習している。	3
③ 祭りを楽しむことが目的なので、特に賞を取ることは目指していない。	10
選択せず	0

問2:現在の審査は、全踊り連を対象としていますが、それについてどう思いますか。	連数
① 全踊り連を対象に受賞連を決める現在のやり方がよいと思う。	13
② 大人の連、親子連、子ども連などのカテゴリーに分けて、それぞれを対象にした賞を出す方が、励みになってよい。	8
③ 自分たちの連にとっては、全体の賞は必要ないので、審査して欲しい連を対象にエントリー方式の審査をしたらよい。	1
選択せず	0

問3:本年の審査は、まつり全体ではなく下石井会場のみで行いました。それについて、どう思いますか？	連数
① 祭り全体を通して審査する方式でよい。	10
② 審査の過程がよく分かるので、審査会場を決めて明快に審査する方がよい。	10
③ いつも審査されていると思うとお祭りを楽しめないので、審査の会場や時間を絞って行ってほしい。	2
選択せず	0

※その他 意見等
<p>・賞の基準が毎年変わっているかと思います。基準が何度も変わる賞は価値を感じなくなると思います。毎年運用できる基準を設けてください。</p> <p>うらじゃはダンスのコンテストではないことを重々承知ですが、審査を行うのであれば踊り子が納得いく具体的な基準を作らなくてはいけないと思います。</p> <p>・お客さんからの投票枠を作ってみるのはどうでしょうか？ 第三者の意見を取り入れることは大切だと思います。</p> <p>・本年度の受賞対象連は「演舞場讚を取った連から“誉”“匠”を決定する」と受賞発表のときにアナウンスされていましたが、ノミネートされていない蓮雲さんが平均点？が高いという理由で誉受賞をされましたので、事前に基準を踊り子に周知しておくべき内容だったと思います。</p>

## ※その他 意見等

練習場所のトラブルではないのですが気になることがあります。岡山県総合グラウンドに複数の学生チームさんの練習を毎週撮影に来る男性の方がいます。

練習はチームのプライベートな部分もあります。

学生チームさん撮りたいカメラマンも多いと思うのと、一人が撮影してもいいとなれば次々と別のカメラマンが毎回来たり学生が撮影できると聞いて毎回不審者が来たりするかもしれません。また踊り子メンバーのなかには練習中の撮影が嫌な方もおられるかもしれません。

また岡山県総合グラウンドではうらじゃの練習以外にも陸上や野球、サッカーやダンスなど多数練習しています。陸上ではアスリート盗撮が多いため運動や練習する運動公園で大きいカメラを持った人がいればアスリートは不安になります。

そのような理由でトラブルになる前にご本人に練習中の撮影は遠慮してもらうか、またはどこかの踊り連の専属カメラマンになって練習中の撮影を勧めてみるのがいいかもしれません。

本祭では演舞前後には男性観客やカメラマンが特定の女性踊り子さんにしつこく絡んできました。

また総踊りでは踊り子だけでなく一般の観客も総踊りに参加します。

踊り連によって学生のみ、女の子のみ、家族チーム、企業チームなど様々です。

今回総踊りの場所は学生で女の子のみでしたが男の一般観客が女性踊り子の周りで騒いでいました。チームで総踊りする場所を決めていますが女性が多いチームさんの総踊り場所にはうらじゃ男性スタッフや他のチームから男性踊り子さんを数人来て踊ってもらうなどしたほうが安心できると思います。

のぼりですがのぼりの竿を祭りの時に常に持ち歩くのは祭りなので人も多く危ないです。このことに関して実行委員会もイオン内ではのぼり持ち歩くの禁止と言っていますので危ないことはわかっていると思いまし、事故になってから禁止や改善では遅いです。

来年以降はのぼり竿を踊り子さんが持ち歩かずに済むようにいいアイデアを是非前向きに考えてもらえれば幸いです。

## 第28回うらじゃ改善シート

No.	部会	会場	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
1	パレード	市役所筋 受付・給水所	A・B会場ゴール付近の横断歩道から給水所側(受付側もあり)に観客が侵入してくる。その逆もあり。	ルート設定の不十分	・横断歩道の給水所側にもコーンを設置。(但し踊り子が通過できるようバーは無し) ・学生ボランティアがほとんどであったので、男性大人スタッフを配置する。もしくはプロ警備の職務範囲の見直し。
2	パレード	市役所筋 運営	2曲目ゴール地点で煽り手が降車、スタート地点で煽り手が乗車する予定だったが、旋回中央部での乗降車となった。	2曲目ゴール地点から横断歩道までの間隔が狭く地方車が大きく旋回しにくかった。	スタート前の待機ゾーンを少し短くして旋回スペースの確保を。
3	パレード	市役所筋	踊り連のマイクパフォーマンスで非常に不快なものがあった。親子連れや子どもに聞かせたくない。一生懸命やっている他の連に失礼。県外から来た人たちに、あれがうらじゃと思われたら恥ずかしい。	うらじゃ後に岡山市に電話があった。	自分たちだけのまつりではなく、みんなのまつりだという認識を持ち、公序良俗を心がける。
4	演舞	イオンハレマチ	オカピタル前に連が溜まっていた。	警備巡回をしていない。	エスカレーターとテナントの間で例年溜まりやすい場所であり、例年後方警備が警備巡回をしている。
5	演舞	イオンハレマチ	ハケ口、演舞場両サイドに人だかりができ通路を塞いでいた。	誘導の不徹底があった。	ハケた後の待機場所や通路との境界をバミリしておく。また会場図に落とし込み、前日準備の段階でバミリをする。
6	演舞	イオンハレマチ	イオン内の人目が付くところで子どもの着替えをさせていた。	匿名の電話があった。	人目が付く場所での着替えはしないようにする。
7	演舞	岡山駅東口噴 水前演舞場	連の待機場所に4連やってくるがあった。	「10分前に待機場所に来てもらうこと」を受付で伝えることが徹底できていなかった。また、早めに来てしまった連に対して、10分前になるまで待機できる場所の案内が役割変更後、引継ぎができていなかった。	受付での案内を徹底する。 役割変更の引継ぎが漏れなく、スムーズにできるように各役割についてまとめた資料などを用意する。

## 第28回うらじゃ改善シート

No.	部会	会場	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
8	総おどり	市役所筋	会場内の踊り連の荷物管理について	総おどり会場にキャリアワゴンを持ち込んで地方車の脇に置こうとしていた連がおり、お願いして即刻撤去してもらおうとしたら、「地方車の横に立ってた警備員が許可してくれた」とのこと。その警備員は、いわゆるガードマン。	警備員が総おどり警備において発言しないよう周知する必要がある。 なお、次回以降においては、会場内において荷物置き場を検討する方向もありかもしれない。ただ、荷物を管理する警備員は不在として、踊り連の管理とする必要はある。
9	総務		提出物・振り込みの締め切り期限を守らない連が複数いた。	事務局側の情報発信が遅いこともあったが、伝達不足。	説明会時に配信した参加要綱資料の再確認を徹底。専用LINEで連絡、ホームページでの周知する。
10	総務		エントリー時に代表者、副代表者など連絡先を記載してもらっていたが、なかなか連絡がつかないことがあった。	事務局側の情報発信が遅いこともあったが、伝達不足。	電話やメールでの問い合わせにはできるだけ早くの返信を実施する。
11	総務	各会場	救急対応された踊り子が再度踊っていた。	患者の管理体制がなかった。	救急対応者の名前等を各会場受付に知らせる連絡網が必要。